

令和 8 年シラス曳網調査結果 (第 11 報)

令和 8 年 8 月 24 日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

8 月 19 日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 29m)
141-10E(水深 38m)、141-15 E(水深 54m)

37-53N 線上 141-05.8E(水深 30m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

23.8℃～25.4℃

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 84～2,010 尾 (合計 4,733 尾)

37-48N 線上の 4 定点におけるシラス採集数(3,563 尾)は前回調査時 (68～2,064 尾、合計 2,826 尾)と比較し、増加しました。また、141-05E～141-15E でサルパが入網しました。

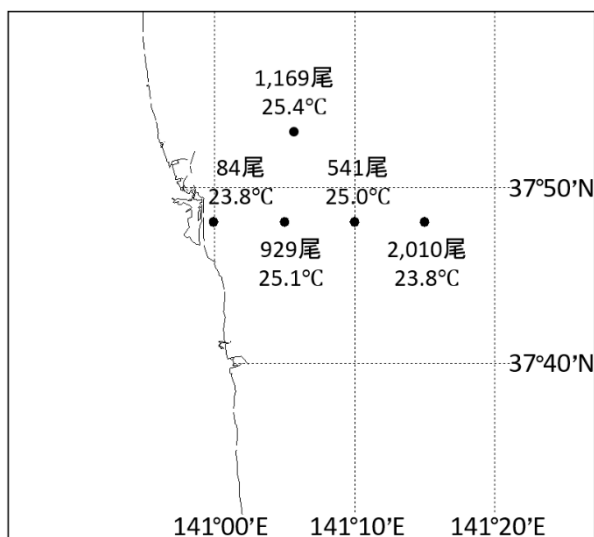


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：5.4～28.1mm

全長 10mm 前後の群のシラスが採集されました。

37-48N 線上、141-00E で全長 20mm 前後、141-05E で全長 12mm 前後、141-10E、141-15E で全長 10mm 前後の群のシラスが採集されました。

37-53N 線上、141-05.8E では全長 14mm 前後の群のシラスが採集されました。

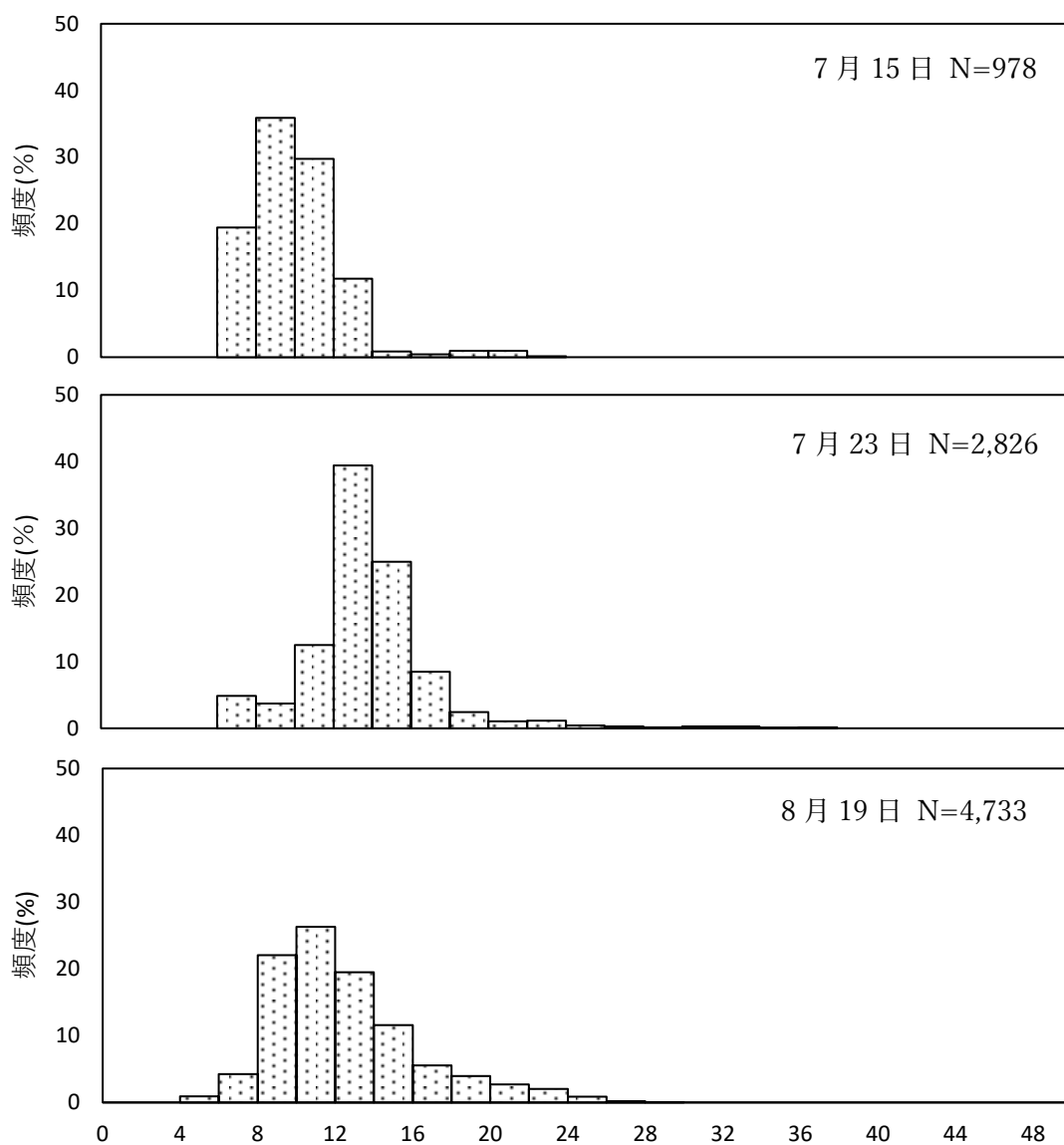


図 2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果等との比較(図 3、4、5)

令和 8 年 8 月の 1 定点あたりのシラス採捕数は 890.9 尾/定点で、平成 18 年以降で 4 番目に多い結果となりました(図 3)。なお、福島県の 8、9 月の漁獲量を図 4、年別シラス漁獲量を図 5 に示します。今漁期はいわき地区においては 5 月 7 日～6 月 17 日までシラスの水揚げがあり、8 月 18 日より操業が再開されています。

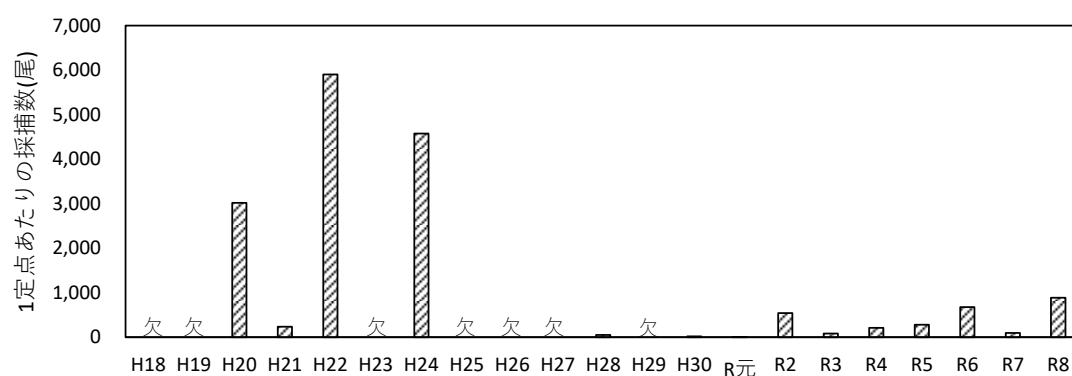


図 3 相馬海域における 8 月の 1 定点あたりの採捕数

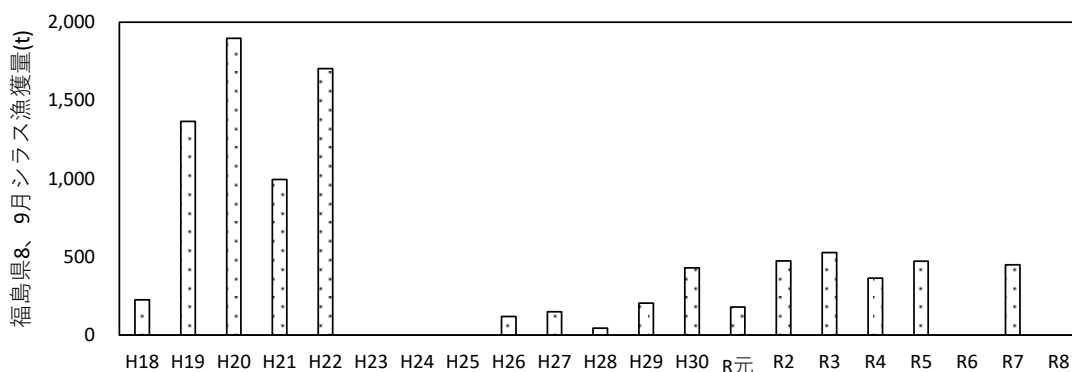


図 4 福島県の 8、9 月のシラス漁獲量

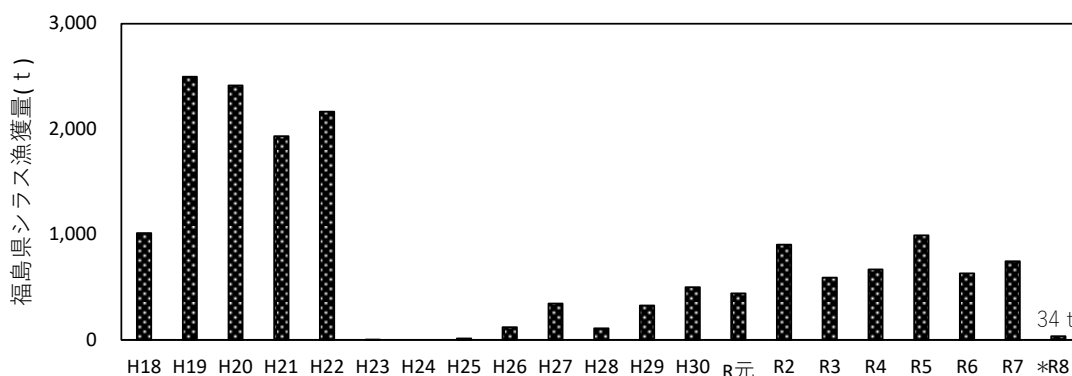


図 5 福島県の年別シラス漁獲量 *令和 8 年は 6 月までの速報値